

瀬戸内海東部海域におけるサワラ標識放流結果III 当歳魚の資源尾数および再捕率について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2025-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 竹森, 弘征, 坂本, 久, 山崎, 英樹, 岩本, 明雄 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014561

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



瀬戸内海東部海域におけるサワラ標識放流結果—III.
当歳魚の資源尾数および再捕率について

竹森弘征・坂本 久・山崎英樹・岩本明雄

1999～2002年の4年間、サワラ人工種苗にALCを主とした標識放流を行い、標識放流魚の再捕状況から各年の瀬戸内海東部海域におけるサワラ当歳魚の資源尾数および再捕率を推定した。その結果、サワラ当歳魚の天然資源尾数は86～924千尾と推定され、2002年の資源発生が卓越していたことが明らかとなった。また、各年における推定資源尾数とサワラ瀬戸内海系群の資源評価による資源尾数の割合は68.2～100.5%の範囲にあった。一方、標識魚の再捕率は2.6～16.8%と推定され、2002年の再捕率が一番低かった。

栽培技研, 33(1), 15-20, 2005